

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 抗ウイルス・抗菌スプレー 抗菌スプレー KW300

会社名 アクリサンデー株式会社

住所 東京都台東区寿 2 - 5 - 7

電話 03 - 5246-3940

FAX 03-5246-3941

### 用途及び使用上制限

用途 : 防ウイルス剤・防菌剤・防カビ剤

使用上の制限 : 情報なし

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険	爆発物	分類対象外
	可燃性又は引火性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性（経口）
急性毒性（経皮）		区分外
急性毒性（吸入：ガス）		分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）		分類できない

	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	無害
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	いずれもなし
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	分類できない
	水生環境有害性（長期間）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

**GHSラベル要素**

絵表示	該当なし
注意喚起語	該当なし
危険有害性情報	GHS基準に該当する危険有害性情報はない。
注意書き	GHS基準に該当する注意書きはない。

**3. 組成および成分情報**

化学物質・混合物の区別      混合物

化学名または一般名（不純物及び安定化添加物を含む）	化学特性	CAS No.	濃度又は濃度範囲（%）	官報公示整理番号 化審法	安衛法
白金ナノコロイド：クエン酸還元	H <sub>2</sub> Pt・6C <sub>6</sub> H <sub>8</sub> O <sub>7</sub>	18497-13-7	0.0031	(1)-223	既存
有機銀（I）	AgNO <sub>3</sub> ：フィチン酸	7761-88-8	0.0033	(1)-8	既存
L（+）-アスコルビン酸	C <sub>6</sub> H <sub>7</sub> NaO <sub>6</sub>	134-03-2	0.00012	(5)-62	既存
コーティング剤（コンニャクマンナン）	非公開	非公開	非公開	非公開	既存
分散剤	非公開	非公開	非公開	非公開	既存
水	H <sub>2</sub> O	7732-18-5	>98	対象外	既存

**4. 応急措置**

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。鼻、口、喉を水でゆすぐ。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。速やかに医師の診断を受ける。呼吸をしながら嘔吐がある場合は頭を横に向ける。
皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を多量の水と石けんで流しながら洗浄する。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
目に入った場合	できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。眼の刺激が続く場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄する。コップ1～2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。速やかに医師の診断を受ける。呼吸をしながら嘔吐がある場合は頭を横に向ける。
最も重要な兆候及び症状	情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤	本製品は不燃性である。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	漏出物や本製品が混入した消火水は水系汚染のおそれがある。
特有の消火方法	周辺火災の場合は容器を安全な場所に移動し、漏出を防止する。
消火を行う者の保護	周辺火災時の消火作業は風上から行い、適切な保護具（手袋、眼鏡等）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	作業の際には、製品が皮膚に付着したり、眼に入ったりしないように適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出した製品や漏出物処理時の廃液が環境中の生物や水質に影響を及ぼさないように、河川等に排出しない。また、排水溝、下水溝に流入するのを防ぐ。

**封じ込め及び浄化の方法・機材** 漏出した液を密閉式の容器にできる限り集める。残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場所に移す。

**二次災害の防止策** 環境への放出を避ける。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

**技術的対策** 屋外または換気のよい場所で取り扱う。  
**局所排気・全体換気** 閉鎖された空間で大量に使用する場合は、必要に応じて局所排気または全体換気を行なう。  
**注意事項** 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。

**安全取扱い注意事項** 適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。ミストおよび蒸気を吸入しない。取り扱う場所での飲食と喫煙を禁止する。取扱い後に手、顔などをよく洗いうがいをする。

### 保管

**技術的対策** 容器を密閉する。  
**適切な保管条件** 直射日光を避け、換気のよい室内の涼しい場所に保管する。食料や飼料から離して保管する。  
**安全な容器包装材料** 情報なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

**設備対策** 取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設置する。屋内作業場には、局所排気装置を設置する。

**管理濃度<sup>1)</sup>** 未設定

**許容濃度**  
 日本産業衛生学会<sup>2)</sup> 未設定

ACGIH<sup>3)</sup> 未設定

### 保護具

**呼吸器の保護具** 保護マスク  
**手の保護具** 不浸透性保護手袋  
**目の保護具** 保護メガネまたは保護面  
**皮膚及び身体の保護具** 不浸透性保護前掛け、保護服（長袖作業衣）、保護長靴

**適切な衛生対策** 取り扱う場所での飲食と喫煙を禁止する。皮膚や粘膜に接触しないように適切な保護具を着用して取り扱う。休憩前、作業終了時には手や顔の洗浄を徹底する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）	淡黄色液体 <sup>4)</sup>
臭い（臭いの閾値）	無臭 <sup>4)</sup>
pH	3.3 <sup>4)</sup>

融点／凝固点	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	データなし
引火点	引火しない <sup>4)</sup>
自然発火温度（発火点）	データなし
燃焼性（固体、ガス）	不燃性 <sup>4)</sup>
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	
下限	不燃性 <sup>4)</sup>
上限	不燃性 <sup>4)</sup>
爆発特性	不燃性 <sup>4)</sup>

蒸気圧	データなし
蒸気密度（空気＝1）	データなし
蒸発速度（酢酸ブチル＝1）	データなし

比重（相対密度）	データなし
----------	-------

溶解性	
水	可溶 <sup>4)</sup>
有機溶剤	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度（粘性率／動粘性率）	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の手扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	高温、直射日光
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物など

## 11. 有害性情報

本製品の有害性に関する情報はないが、溶解助剤について以下の情報がある。

**急性毒性**

経口	[溶解助剤] LD50(ラット)=14500mg/kg <sup>4)</sup>
経皮	[溶解助剤] LD50(ラット)=40000mg/kg <sup>4)</sup>
吸入	データなし

**皮膚腐食性・刺激性** [溶解助剤] 軽度の刺激性あり (ウサギ)<sup>4)</sup>

**眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性** [溶解助剤] 軽度の刺激性あり (ウサギ)<sup>4)</sup>

**呼吸器感作性** データなし

**皮膚感作性** データなし

**生殖細胞変異原性  
(変異原性)** データなし

**発がん性** データなし

**生殖毒性** データなし

**特定標的臓器毒性  
(単回暴露)** データなし

**特定標的臓器毒性  
(反復暴露)** データなし

**吸引性呼吸器有害性** データなし

## 1.2. 環境影響情報

本製品に関する情報はないが、溶解助剤について以下の情報がある。

**生態毒性**

**魚毒性** データなし

**その他** [溶解助剤] ロブスター LC<sub>50</sub> (96hrs) =0.72mg/L<sup>4)</sup>

**残留性／分解性** データなし

**生体蓄積性** データなし

土壤中の移動性 データなし

### 13. 廃棄上の注意

**残余廃棄物** 内容物は国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って適切に廃棄する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄処理を委託する。

**汚染容器及び包装** 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連分類	該当しない
国連番号	該当なし
品名（国連輸送品名）	該当なし
容器等級	該当なし
海洋汚染物質	該当なし

#### 国内規制

陸上規制情報	該当なし
海上規制情報	該当なし
航空規制情報	該当なし

**輸送の特定の安全対策及び条件** 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を備える他、緊急時の処理に必要な回収器具・容器、工具などを備えておく。

**緊急時応急措置指針番号** なし

### 15. 適用法令

消防法	非危険物
-----	------

### 16. その他の情報

#### 参考文献

- 1) 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター；作業環境評価基準（2012）
- 2) 日本産業衛生学会 許容濃度勧告；日本産業衛生学会誌 54巻, 194(2012)
- 3) ACGIH；“TLVs and BEIs”（2013）
- 4) 株式会社Eu-BS；社内情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  
また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

**改訂履歴**

**2013年05月24日作成**